

GISELLE

The National Ballet of Japan

新国立劇場バレエ団 ジゼル

2025.4.10 (木) 19:00 | 11 (金) 14:00 | 12 (土) 13:30/18:00

13 (日) 13:30 | 18 (金) 19:00 | 19 (土) 13:30/18:00 | 20 (日) 14:00

芸術監督: 吉田 都 振付: ジャン・コラリ / ジュール・ペロー / マリウス・プティパ 演出: 吉田 都 ステージング・改訂振付: アラスター・マリOTT

音楽: アドルフ・アダン 美術・衣裳: ディック・バード 照明: リック・フィッシャー 指揮: ボール・マーフィー / 富田実里 管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団

Artistic Director: YOSHIDA Miyako

Choreography by Jean CORALLI, Jules PERROT and Marius PETIPA Production by YOSHIDA Miyako Staging and Additional Choreography by Alastair MARRIOTT

Music by Adolphe ADAM Set and Costume Designer: Dick BIRD Lighting Designer: Rick FISHER Conductors: Paul MURPHY/TOMITA Misato Orchestra: Tokyo Philharmonic Orchestra

助成: 文化芸術活動基盤強化基金(クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会
Supported by the Agency for Cultural Affairs, Government of Japan / the Japan Arts Council

後援: プリティッシュ・カウンシル Supported by the British Council

NATIONAL
BALLET
OF JAPAN
New National
Theatre, Tokyo

OPERA
PALACE
Tokyo
オペラハウス

新国立
劇場

NATIONAL
BALLET
OF JAPAN

資料・写真のご請求、ご取材のお問い合わせ

新国立劇場 制作部舞踊 広報担当 清水千奈美

Tel : 03-5352-5735 / Fax : 03-5352-5737 / e-mail : shimizu_c4725@nntt.jac.go.jp

見どころ *Highlights*

新国立劇場から世界へ！

吉田都芸術監督が手がける圧巻の舞台

2022 年に吉田都芸術監督が初めて演出を手掛け、話題を呼んだ『ジゼル』。イギリスの振付家アラスター・マリOTTとともに、19 世紀ロマンティック・バレエ不朽の名作を新しく生まれ変わらせ、ロマンティック・バレエの本質である幽玄さを持ちつつも演劇的なドラマとして再構築したと評価されました。4 月に新国立劇場オペラパレスで上演後、7 月にイギリスのロイヤルオペラハウスにて海外公演を予定しています。

吉田監督がこの作品を演出するにあたって目指したのは、演劇的に深みのある舞台。それぞれのキャラクターの人物像から物語のバックグラウンド、そして役柄の一人ひとりにどういった感情の動きがあるのかなど、クリアに伝えられながら制作されました。ブリティッシュ・バレエの伝統を受け継ぎつつも、新国立劇場バレエ団らしいオリジナルのジゼルにぜひご注目ください。

物語が際立つ舞台美術と照明

ヨーロッパのキリスト教と土着の文化の狭間にある世界観を表現したディック・バードの舞台美術も大きな見どころです。想定されている時代について絵画などリサーチを深く行い、その年代に忠実なデザインを踏まえつつ、キャラクターたちの役柄などに合わせ吉田監督と話し合いを重ねながら形づくられていきました。特に印象的な第2幕の舞台装置はリトアニアの「十字架の丘」に着想を得てデザインされ、ジゼルと同じように亡くなってしまった沢山の若い女性たちの墓が立ち並びます。

リック・フィッシャーが手掛けた照明も、物語をつくりあげる重要なピースのひとつ。幻想的な月明かりからアルブレヒトが救われる夜明けの光など、時の移ろいを感じさせる美しい照明が物語を際立たせます。

こうした舞台美術や照明からも『ジゼル』という美しくも悲劇的な物語がリアリティを持って伝わるはずです。



前回公演より 撮影：鹿摩隆司

ものがたり Story

ブドウ収穫祭をひかえた中世ドイツの村。公国の王子アルブレヒトは、隣村の村人に変装し、村娘ジゼルを口説いている。森に住むヒラリオンもジゼルに恋しており、アルブレヒトの正体を不審に思う。ジゼルの母ベルタは、心臓が悪く体も弱い娘を心配しており、アルブレヒトとの交際を認めずにいる。大富豪の娘バチルドと、アルブレヒトの伯父クールランド公爵の一行が村に到着すると聞いたアルブレヒトは身を隠す。村人のもてなしを受け、優しいジゼルに惹かれたバチルドは、お互い結婚を控えている者同士として彼女に首飾りを贈るが、よもや相手が同じ男性とは知るよしもない。収穫祭のさなか、ヒラリオンは公爵家の紋章がついた角笛を吹いてアルブレヒトの正体を全員の前で明らかにする。アルブレヒトが実は王子で、バチルドと婚約していることを知ったジゼルは愛する人の裏切りに打ちのめされ、ついには心臓が止まって息絶えてしまう。



夜が更け、木々がうっそうと生い茂る古い墓地。恋人に裏切られ失意のうちに亡くなった乙女たちの霊、ウィリたちが潜んでいる。ウィリの女王ミルタは、男を見つけたら死ぬまで踊らせるようウィリたちに命じる。ジゼルの墓に花を供えに訪れたアルブレヒトは罪の意識にさいなまれて許しを請う。その姿を見たジゼルは、変わらぬ愛をもって優しく許す。ミルタとウィリたちは同じくジゼルの墓にやってきたヒラリオンを追い詰め崖から転落死させた後、アルブレヒトにも死を告げ、日の出まで踊ることを強いる。力尽きそうになる度、自分のために踊るジゼルに守られ、ついにアルブレヒトは夜明けまで生き延びることができた。ウィリたちを縛る憎悪と復讐の鎖を断ち切った彼女は自らの墓に戻って安らかに眠り、一人残されたアルブレヒトは墓の前で涙を流すのであった。

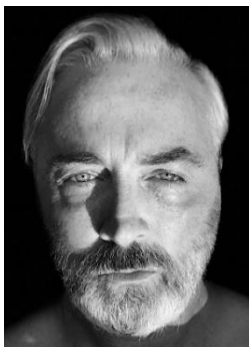
スタッフ Staff

【演出】 吉田 都 YOSHIDA Miyako



9歳でバレエを習い始め、1983年ローザンヌ国際バレエコンクールでローザンヌ賞受賞。同年、英国ロイヤルバレエ学校に留学。84年、サドラーズウェルズ・ロイヤルバレエ（現バーミンガム・ロイヤルバレエ）へ芸術監督ピーター・ライトに認められて入団。88年にプリンシパル昇格。95年に英国ロイヤルバレエへプリンシパルとして移籍、2010年に退団するまで英国で計22年にわたり最高位プリンシパルを務める。日本国内では1997年の開場記念公演『眠れる森の美女』をはじめ、新国立劇場バレエ公演での99年『ドン・キホーテ』『シンデレラ』、2000年『ラ・シルフィード』、04年『ライモンダ』ほか、数多くの公演に主演している。ローザンヌ国際バレエコンクール審査員を務めるほか、後進の育成にも力を注いでいる。バレリーナとしての功績と共にチャリティ活動を通じた社会貢献が認められ、04年「ユネスコ平和芸術家」に任命される。12年には国連UNHCR協会国連難民親善アーティストに任命。20年9月より新国立劇場舞踊芸術監督。01年芸術選奨文部科学大臣賞、06年英国最優秀女性ダンサー賞、11年第52回毎日芸術賞など受賞多数。07年に紫綬褒章並びに大英帝国勲章（OBE）受賞、17年文化功労者、19年菊池寛賞。

【改訂振付】 アラスター・マリOTT Alastair MARRIOTT



1988年に英国ロイヤルバレエに入団、92年ソリスト昇格。2003年よりプリンシパル・キャラクター・アーティストとなり、振付家としての活動を始める。ロイヤルバレエではフレデリック・アシュトン、ケネス・マクミランの振付作品や古典などに幅広く出演し、19年に振付に専念するため退団。ロイヤルバレエのために7つの一幕作品を振り付け、最新作である19年『アン・ソルジャー』は、オリヴィエ賞候補となった。ロンドンの舞踊批評家協会最優秀クラシック振付家賞に3度ノミネートされ、15年『ツァイトガイスト』でロシアのゴールデン・マスク賞候補となる。英国ロイヤルバレエ学校でも3作品を振り付け、英国ロイヤルオペラ『ロシア皇后のスリッパ』でも振付を手掛けた。他に10年のロイヤル・バラエティー・パフォーマンスのためのパ・ド・ドウの振付や、ダーシー・バッセルへの『キス』『赤い靴』の振付も手掛け、12年のロンドン・オリムピックの閉会式ではクリストファー・ウィールドンとも協働した。近年は、アンソニー・バンクス演出『アフター・ミス・ジュリー』でヘレン・ジョージへの振付を手掛ける。

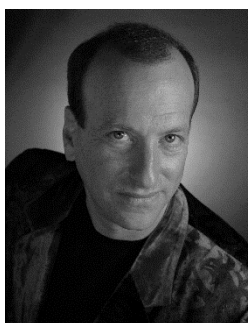
【美術・衣裳】 ディック・バード Dick BIRD



ディック・バードがこれまでに手がけたオペラのデザインは『中国のニクソン』『ガラントゥリーズ』『ミカド』（スコティッシュ・オペラ）、『オテロ』（ウィーン国立歌劇場）、『ストリート・シーン』（テアトロ・レアル）、『アンナ・ボレーナ』『真珠採り』（メトロポリタン歌劇場、イングリッシュ・ナショナル・オペラ）、『湖上の美人』『花火師の娘』（英国ロイヤルオペラ）、『ベアトリスとベネディクト』（オペラ・コミック座）などがある。バレエでは『くるみ割り人形』『アラジン』（バーミンガム・ロイヤルバレエ）、『ドラゴン・クエスト』『くるみ割り人形』（スターダンサーズ・バレエ団）、『夏潮』（サラソタバレエ）、『ラ・バヤデール』（Kバレエカンパニー）、『カンタヴィルの亡霊』（イングリッシュ・ナショナル・バレエ）などを手掛けている。その他演劇では、『ハムレット』『ラ・グラン・マージ』（コメディ・フランセーズ）、『十二夜』『テンペスト』『あわれ彼女は娼婦』（ポーランド劇場）や、UKシアターアワードでベストデザイン賞を受賞した『未来は今』（ナフィールド・サウサンプトン劇場/リバプール・エブリマン劇場）をデザインしている。新国立劇場バレエ団では、『火の鳥』と『アラジン』の装置デ

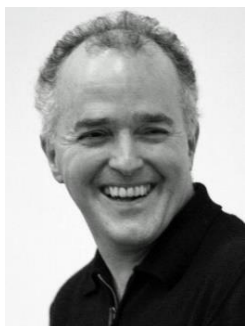
ザインを手掛けている。

【照明】 リック・フィッシャー Rick FISHER



フィラデルフィア生まれ。2度のオリヴィエ賞のほか、ブロードウェイで上演された『インスペクター・コールズ』『ビリー・エリオット』でトニー賞受賞。ロンドンでの『赤ずきん』『ラ・マンチャの男』『ムード・ミュージック』『レント』『サニー・アフタヌーン』『炎のランナー』『ユダの接吻』『ウェイスト』『ピーター・パン』などの他、『ドン・カルロ』『蝶々夫人』（ロサンゼルス）、『椿姫』（オマーン王立歌劇場）、『紫禁城』『ヴェニス商人』『オテロ』（シンガポール）、『王様と私』（パリ、シカゴ）、『スウィーニー・トッド』（パリ、ヒューストン、サンフランシスコ）、『ザ・オーディエンス』（ブロードウェイ）、ディズニー『ノートルダムの鐘』（ベルリン）、サンタフェ・オペラでの25作品以上を手掛けている。日本では『ビリー・エリオット』（ホリプロ）、『マタ・ハリ』（梅田芸術劇場）、『ファルススタッフ』『サロメ』（サイトウ・キネン）、『赤鬼』『THE BEE』（野田地区）、マシュー・ボーン『白鳥の湖』『インスペクター・コールズ』（アーツフィア）、『リア王』『ハムレット』（東京グローブ座）などに携わる。英国照明デザイナー協会会員。2017年カイロニ特別功労賞ナイツ・オブ・イルミネーション賞。

【指揮】 ポール・マーフィー Paul MURPHY



バーミンガム・ロイヤルバレエとそのオーケストラ、ロイヤル・バレエ・シンフォニアの首席指揮者。劇場での公演に加え、コンサートや収録でも共に仕事をしている。1994年以来、ロイヤルオペラハウス管弦楽団と定期的に仕事をしている。その他、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、ハレ管弦楽団、ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団、BBCナショナル・ウェールズ管弦楽団、ニュー・クイーンズ・ホール管弦楽団、BBCコンサート・オーケストラ、オペラ・ノース管弦楽団、バーミンガム市交響楽団等、英国の優れたオーケストラを多数指揮している。海外では、ベルゲン・フィルハーモニー管弦楽団、ワシントン・ナショナル・オペラ管弦楽団、ソフィア・オペラ管弦楽団、シチリアのテアトロ・マッシモ管弦楽団等と仕事をしている。また、ニューヨーク・シティ・バレエ、バレエ・アム・ライン、ロイヤル・フランダース・バレエ、オランダ国立バレエ、最近ではオーストラリア・バレエのゲスト指揮者を務めている。CDのリリースではハレ管弦楽団（サン・サンスのピアノと管弦楽曲全曲）、ロイヤル・バレエ・シンフォニア、

ニュー・クイーンズ・ホール管弦楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団との共演がある。97年、英国王立音楽院のアソシエイトに選ばれた。新国立劇場では、『アラジン』『カルミナ・ブラーナ』『ガラントゥリーズ』『火の鳥』『シンフォニー・イン・C』『ペンギン・カフェ』『パゴダの王子』『白鳥の湖』ほかを指揮している。

【指揮】 富田実里 TOMITA Misato



国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業、桐朋学園大学音楽学部にて指揮を学ぶ。堤俊作、湯浅勇治、松沼俊彦に師事。2013 年日本バレエ協会『ドン・キホーテ』でバレエ指揮者デビュー。その後、イングリッシュ・ナショナル・バレエ、バーミンガム・ロイヤルバレエの客演指揮者として『ロメオとジュリエット』『くるみ割り人形』『海賊』『コッペリア』『大地の歌』『ラ・シルフィード』『美女と野獣』を指揮したほか、井上バレエ団、NBA バレエ団、東京バレエ団の公演で指揮を務め好評を得る。また、指揮者の活動以外にも様々な分野でピアニストとして活躍の場を広げている。新国立劇場バレエ団では、数々のバレエ公演で副指揮者を務め、現在レジデント・コンダクター。『シンデレラ』『くるみ割り人形』『眠れる森の美女』『アラジン』『ドン・キホーテ』『ペンギン・カフェ』『コッペリア』『白鳥の湖』『不思議の国のアリス』を指揮した。

キャスト Cast

2025 年 4 月	10 日(木) 19 : 00	11 日(金) 14 : 00	12 日(土) 13 : 30	12 日(土) 18 : 00	13 日(日) 13 : 30
ジゼル	小野絢子	木村優里	柴山紗帆	米沢 唯	池田理沙子
アルブレヒト	福岡雄大	渡邊峻郁	速水涉悟	井澤 駿	奥村康祐

2025 年 4 月	18 日(金) 19 : 00	19 日(土) 13 : 30	19 日(土) 18 : 00	20 日(日) 14 : 00
ジゼル	小野絢子	柴山紗帆	米沢 唯	木村優里
アルブレヒト	福岡雄大	速水涉悟	井澤 駿	渡邊峻郁

<ジゼル>



小野絢子 ONO Ayako <プリンシパル>

東京都出身。小林紀子バレエアカデミー、新国立劇場バレエ研修所を経て、2007 年に新国立劇場バレエ団に入団。08 年 D.ビントレー『アラジン』の主演に抜擢され、その後もほぼ全ての作品で主役を踊る。11 年プリンシパルに昇格。13 年『アラジン』、14 年『パゴダの王子』英国初演ではバーミンガム・ロイヤル・バレエにゲスト主演した。11 年芸術選奨文部科学大臣新人賞および舞踊批評家協会新人賞、14 年服部智恵子賞、16 年橘秋子賞優秀賞、19 年芸術選奨文部科学大臣賞。



木村優里 KIMURA Yuri <プリンシパル>

千葉県出身。泉バレエ塾、橘バレエ学校で学ぶ。新国立劇場バレエ研修所を経て、2015 年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団。15 年『くるみ割り人形』金平糖の精役で主役デビューを果たす。『ドン・キホーテ』『白鳥の湖』『眠れる森の美女』『ジゼル』などの古典作品や F.アシュトン『シンデレラ』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』、R.プティ『コッペリア』の主役のほか、『ラ・バヤデール』ガムザッティ、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』ハートの女王などを踊っている。22 年プリンシパルに昇格。17 年舞踊批評家協会新人賞、20 年中川鋭之助賞を受賞。



米沢 唯 YONEZAWA Yui <プリンシパル>

愛知県出身。塚本洋子バレエスタジオ、サンノゼバレエ団を経て、2010 年に新国立劇場バレエ団に入団。11 年『パゴダの王子』で初主役を務め、13 年プリンシパルに昇格。初演した主な役には W.イーグリング『眠れる森の美女』オーロラ姫、森山開次『竜宮 りゅうぐう』プリンセス亀の姫、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのアリスなどがある。17 年芸術選奨文部科学大臣新人賞、18 年舞踊批評家協会新人賞、20 年芸術選奨文部科学大臣賞、橘秋子優秀賞ほか受賞多数。



柴山紗帆 SHIBAYAMA Saho <プリンシパル>

東京都出身。バレエスタジオ DUO、ハリッド・コンサーヴァトリー、ピッツバーグ・バレエシアター・スクールで学ぶ。2014 年に新国立劇場バレエ団に入団。15 年に牧阿佐美『くるみ割り人形』金平糖の精で主役デビューを果たし、『白鳥の湖』『ラ・バヤデール』『ドン・キホーテ』『ライモンダ』『ジゼル』『眠れる森の美女』、F.アシュトン『シンデレラ』、森山開次『竜宮 りゅうぐう』の主役、 balan sin『テーマとヴァリエーション』『シンフォニー・イン・C』第一楽章などを踊っている。21 年ファースト・ソリスト、23 年プリンシパルに昇格。



池田理沙子 IKEDA Risako <ファースト・ソリスト>

東京都出身。バレエスタジオ DUO で学ぶ。2009 年ユース・アメリカ・グランプリ女性シニアの部銅メダルほかコンクール受賞歴多数。K バレエカンパニーを経て、16 年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し 19 年ファースト・ソリストに昇格。『眠れる森の美女』『くるみ割り人形』や F.アシュトン『シンデレラ』、R.プティ『コッペリア』、D.ビントレー『アラジン』、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』などの主役のほか、平山素子『Butterfly』『春の祭典』を踊っている。25 年中川鋭之助賞受賞。

<アルブレヒト>



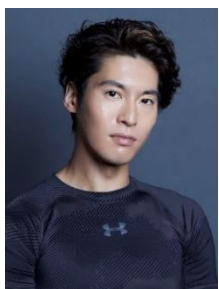
井澤 駿 IZAWA Shun <プリンシパル>

群馬県出身。関田和代、菅居理枝子、田中洋子に師事し、2014 年新国立劇場バレエ団に入団。同年 F.アシュトン『シンデレラ』で主役デビューを果たし、17 年プリンシパルに昇格。『ドン・キホーテ』『白鳥の湖』などの古典や R.プティ『こうもり』、P.ダレル『ホフマン物語』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』の主役、D.ビントレー『アラジン』ランプの精ジーンなどを踊っている。18 年中川鋭之助賞、20 年舞踊批評家協会新人賞、22 年芸術選奨文部科学大臣新人賞。



奥村康祐 OKUMURA Kosuke <プリンシパル>

大阪府出身。母・地主薫に師事し、09 年モスクワ国際バレエコンクールで銀賞受賞。翌年文化庁芸術祭新人賞を受賞。12 年新国立劇場バレエ団に入団し、16 年よりプリンシパル。『白鳥の湖』『眠れる森の美女』『ドン・キホーテ』『ライモンダ』などといった古典作品や D.ビントレー『アラジン』、R.プティ『コッペリア』、M.フォーキン『ペトルーシュカ』主役のほか、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのルイス・キャロルなどを踊っている。10 年文化庁芸術祭新人賞、14 年舞踊批評家協会新人賞、16 年中川鋭之助賞、22 年芸術選奨文部科学大臣賞。



福岡雄大 FUKUOKA Yudai <プリンシパル>

大阪府出身。ケイ・バレエスタジオ、チューリッヒ・バレエ団を経て 2009 年新国立劇場バレエ団に入団。劇場デビューとなる『ドン・キホーテ』で主演し、以降ほとんどの作品で主役を踊る。12 年よりプリンシパル。D.ビントレー『アラジン』、『パゴダの王子』英国初演ではバーミンガム・ロイヤル・バレエにゲスト主演した。17, 19 年中村恵恩『ベートーヴェン・ソナタ』でも高い評価を得る。11 年中川鋭之助賞、13 年舞踊批評家協会新人賞、18 年芸術選奨文部科学大臣新人賞、23 年芸術選奨文部科学大臣賞受賞。



速水渉悟 HAYAMI Shogo <プリンシパル>

京都府出身。ジョン・クランコ・バレエ学校を経て、2015 年ヒューストン・バレエに入団。15 年ユース・アメリカ・グランプリ NY ファイナル男性シニア部門金賞、審査員特別賞を受賞。18 年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団。20 年『ドン・キホーテ』で全幕主役デビューを果たし、『竜宮 りゅうぐう』『ジゼル』『くるみ割り人形』『コッペリア』『夏の夜の夢』『ラ・バヤデール』『アラジン』の主役のほか、『ロメオとジュリエット』『ベンヴェーリオ、C.ウィールドン』『不思議の国のアリス』ルイス・キャロルなどを踊る。21 年ファースト・ソリスト、23 年プリンシパルに昇格。24 年中川鋭之助賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。



渡邊峻郁 WATANABE Takafumi <プリンシパル>

福島県出身。鈴木寿雄のもとでバレエを始める。2009 年モナコ・プリンセス・グレース・ダンスアカデミーを首席で卒業し、仏トゥールーズのキャピトルバレエ団に入団。K.ベラルビ『美女と野獣』ほかに主演。16 年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し、19 年プリンシパル昇格。古典作品の主役や C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのジャック、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』ロメオ、『マノン』レスコー、F.アシュトン『夏の夜の夢』オーベロン、『Shakespeare THE SONNETS』などを踊り好評を博している。

公演概要 & チケット情報

Schedule & Tickets

2024/2025 シーズン 新国立劇場
新国立劇場バレエ団

ジゼル

Giselle

振付 ジャン・コラリ / ジュール・ペロー/マリウス・プティパ

演出 吉田 都

改訂振付 アラスター・マリオット

音楽 アドルフ・アダン

美術・衣裳 デイック・バード

照明 リック・フィッシャー

芸術監督 吉田都

出演 新国立劇場バレエ団

指揮 ポール・マーフィー／富田実里

管弦楽 東京フィルハーモニー交響楽団

【公演日程】

2025 年 4 月 10 日 (木) 19:00

4 月 11 日 (金) 14:00



4 月 12 日 (土) 13:30 / 18:00

4 月 13 日 (日) 13:30

託児



4 月 18 日 (金) 19:00

4 月 19 日 (土) 13:30

託児

/ 18:00

4 月 20 日 (日) 14:00 ★

ロンドン公演

2025 年 7 月 24 日 (木) 19:30

7 月 25 日 (金) 19:30

7 月 26 日 (土) 14:00

7 月 26 日 (土) 19:30

7 月 27 日 (日) 14:00

英国ロイヤルオペラハウス

* 開場は開演 45 分前です。
開演後のご入場は制限させていただきます。

オフィシャルスポンサー：株式会社 木下グループ
オフィシャルエアライン：全日本空輸株式会社

託児 ...託児室<キッズルーム「ドレミ」>がご利用になれます。

 ...バックステージツアー実施日（抽選）

★ ...グランエクスペリエンス実施日

【会場】新国立劇場 オペラパレス（京王新線 新宿駅より 1 駅、初台駅中央口直結）

【予定上演時間】約 2 時間 15 分（休憩含む）

【ウェブサイト】<https://www.nntt.jac.go.jp/ballet/giselle/>

【チケット料金（税込）】

席種	S 席	A 席	B 席	C 席	D 席	Z 席*
料金（税込）	15,950 円	13,750 円	10,450 円	8,250 円	6,050 円	1,650 円

◆クラブ・ジ・アトレ会員の方は、公演最終日まで上記料金の 10%OFF でお求めいただけます。

*Z 席は舞台のほとんどが見えないお席です。予めご了承ください。

※Z 席は、公演当日朝 10:00 から、新国立劇場 Web ボックスオフィスおよびセブン-イレブンの端末操作により全席先着販売いたします。1 人 1 枚です。

※上記の方法での先着販売後、残席がある場合は、開演 2 時間前からボックスオフィス窓口でも販売いたします。

※電話での予約は承れません。

【前売り開始日】

一般発売日：2025 年 1 月 25 日（土）10:00～現在発売中

【チケットのお求め・お問い合わせ】

<ウェブでの予約・購入>

新国立劇場 Web ボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/>（PC、携帯共通）

チケットぴあ <http://pia.jp/t/>（PC、携帯共通）【P コード：525-775】

イープラス <http://eplus.jp/>（PC、携帯共通）

ローソンチケット <http://l-tike.com/>（PC、携帯共通）【L コード：33623】

<電話での予約・購入>

新国立劇場ボックスオフィス TEL：03-5352-9999（10:00～18:00）

公式ホスピタリティプログラム “グランエクスペリエンス”

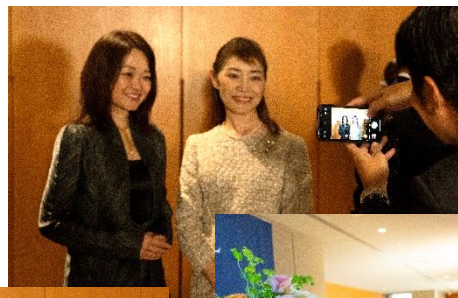
2024/2025 シーズンよりスタートした公式ホスピタリティプログラム “グランエクスペリエンス”。バレエ「眠れる森の美女」千秋楽公演、オペラ「ウィリアム・テル」千秋楽公演につづき、「ジゼル」千秋楽公演でも実施いたします。

オペラパレス 2 階ラウンジで軽食とお飲み物のサービスに加えて、本プログラム限定のパスとギフト、専用のクロークをご用意し、優雅で快適な 1 日をお過ごしいただけます。

さらに、クリエイティブスタッフや出演者との交流やオペラパレス 1 階 16 列目センターブロックのお席など、グランエクスペリエンスのお客様限定の特別な体験をお楽しみいただけます。

グランエクスペリエンスでは、お客様に普段よりも快適な観劇と特別な体験をお届けし、オペラ・バレエの世界を深く好きになっていただき、新国立劇場がお届けするオペラ・バレエを更に応援いただける方のコミュニティづくりに寄与してまいります。また将来的には、グランエクスペリエンスによる収益を、障がいのある方や若年層の支援に還元し、サステナブルな取り組みへと発展させていく予定です。

単に上質なサービスで特別な観劇体験を提供するだけでなく、新国立劇場がお届けするバレエ・オペラを末永くご支援いただける方や日本の舞台芸術文化が持続可能な社会の重要な要素であることにご賛同いただける方の新たな交流の場となることを目指しています。



『眠れる森の美女』にて実施したグランエクスペリエンスの様子 撮影：引地信彦

【実施日】2025 年 4 月 20 日（日）

12:45 ラウンジ優先入場開始 14:00 開演

【販売価格（税込）＜20 名限定＞】

S 席 1 階 16 列センター + グランエクスペリエンス ¥83,050

グランエクスペリエンス（ホスピタリティサービスのみ、別途要公演チケット） ¥67,100

【ウェブサイト】<https://www.nntt.jac.go.jp/ticket/grandexperience/>

【販売スケジュール】

一般販売開始：2025/1/25（土）～発売中

【チケットのお求め・お問い合わせ】

新国立劇場ボックスオフィス

TEL 03-5352-9999 （10:00～18:00／休館日を除き年中無休）

新国立劇場 Web ボックスオフィス

<https://nntt.pia.jp/> ※座席（1 階 16 列センター）とのセット購入のみ

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> ※座席（1 階 16 列センター）とのセット購入のみ